

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL. 12 No. 38 TOTAL 513 平成 22 年 5 月 17 日 第 531 回例会

【例会日】 毎週月曜日 12:30~13:30
 【例会場】 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アバローム紀の国
 【事務局】 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(〒640-8249)
 TEL073-435-3470/FAX073-435-3472
 E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/山田 茂 [会報委員]
 副会長/柴田 美和 ○栗山 久 ○新家 弘通
 幹事/中村 善夫 黒田 忠嗣 柳 あゆみ

会長報告

会長 山田 茂



皆様、こんにちは！本日は、私たち和歌山アゼリアロータリークラブの公開例会にご参加いただき、ありがとうございます。

私たち和歌山アゼリアロータリークラブでは、毎週月曜日のお昼に例会を開催しており、通常は会員だけで例会を行っているのですが、今回は初めての試みとして、公開例会を企画いたしました。日頃、私たちロータリークラブの会員が行なっている奉仕活動を地域の人々に広く知って頂くとともに、本日の例会のテーマであります、「聴覚障害者の方々への支援と啓蒙活動」を目的として、今回の公開例会を企画いたしました。

ここで、一般の皆様にも、ロータリークラブについて、簡単にご説明をさせて頂きたいと思います。ロータリークラブは、1905年にアメリカのシカゴに於いて、青年弁護士「ポール・ハリス」の提唱により誕生しました。その後、国際ロータリーとして世界中に広がり、現在では世界200カ国に120万人以上の会員を有する奉仕団体に発展しており、貧困地域での「ポリオ撲滅」・「識字率の向上」や「世界平和と国際親善」の為の奉仕活動を行っています。日本では、1920年に東京ロータリークラブが設立されて以来、全国に2,300以上のクラブと約95,000人の会員がいます。ロータリークラブは、地域の実業人、専門職人の集まりで、「奉仕の理想」をその「基本理念」に掲げ、地域での奉仕活動のみならず、世界中の様々な分野で奉仕活動を行っています。



2009-10年度
 国際ロータリーのテーマ
**ロータリーの未来は
 あなたの手の中に**
 RI会長 ジョン・ケニー

2009-10年度
 アゼリアロータリーのテーマ
『地域NO.1のロータリークラブを目指そう!』
 -『和』・『楽』・『チャレンジ50』-

＜本日の例会＞

- 第 531 回例会 5 月 17 日 (月)
- ☆ 誕生会
- ☆ クラブフォーラム 雑誌・広報委員会
- ☆ 米山記念奨学生卓話 ワン・レンホーさん

＜次回のお知らせ＞

- 第 532 回例会 5 月 24 日 (月)
- ☆ I・D・M ロータリー情報委員会
- テーマ：社会奉仕について
- * 例会時間 30 分延長

＜前回の例会記録＞

- ロータリーソング 奉仕の理想
- ゲスト紹介 和歌山県聴覚障害者協会 福田美枝子副会長様 他
- ビジター紹介
- 出席報告 会員数44名
 本日の出席 (5 / 9) 25名 56.81%
 前々回修正出席 (4 / 19) 34名 77.27%
- メイクアップ 役員及びクラブ行事へ 4名

＜四つのテスト＞

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
- II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内8ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	5月17日(月)	クラブフォーラム「地区協議会要点的発表」
和歌山	5月18日(火)	奨学生卓話 アン・ジョンホーさん
和歌山東南	5月19日(水)	IDM発表④
和歌山西	5月19日(水)	ミホワードご夫妻並びにルー・フレトリアスご夫妻をお迎えして
和歌山東	5月20日(木)	卓話「趣味うつつ」漫画家 マエオカテツヤさん
和歌山城南	5月20日(木)	クラブフォーラム「I.D.M.発表④」
和歌山南	5月21日(金)	第4回I.D.M.発表
和歌山中	5月21日(金)	第4回I.D.M.発表

私たち和歌山アゼリアロータリークラブでも、クラブ創立以来、①青少年の健全育成を目的とした「旭学園の子供たちとの交流」・「ドラゴンボートレースへの協賛」・「ライラ～ロータリー青少年指導者育成プログラムへの参加」などの奉仕活動、また、②「盲導犬育成の為の支援事業～当クラブでは、この事業名を“ワンワン基金”と名付けています。」や「海外の貧困者の人々に無償で白内障手術を行っているNPO法人アジア眼科医療協会への支援事業」などを行っています。さらに、③国際的な奉仕活動として、「ソロモンの子供たちへの教育支援」や「海外への奨学生の派遣や奨学生受入事業」など、様々な分野で奉仕活動を行っています。そして、今年度は、「聴覚障害者の方々への支援と啓蒙活動」を目的として、本日の公開例会を企画・開催させていただきました。

一般の皆様には、この後少しの間ですが、私たちの例会に参加して頂き、その後、聴覚障害者の皆様による「手話劇」と映画「ゆずり葉」の鑑賞会に移りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

本日の会長報告は、これで終わります。

幹事報告



幹事 中村善夫

- ①本日、和歌山アゼリアロータリークラブの初めての試みである公開例会に、お忙しい中ご参加頂き、ありがとうございます。
- ②本日の幹事報告は、特にありません。この公開例会を通じて、ロータリー活動への関心を持って頂ければ幸いです。

旭学園様へ贈呈式

◎青少年育成委員会 委員長 福西正人
青少年育成委員会の活動の一環としまして、旭学園



様に支援をさせていただいております。昨年は、図書室に文庫本等を寄贈させていただきました。

旭学園様は、勉学に注力されているとお聞きしますので、今回は、図書券10万円を贈呈させていただきます。



公開例会 アトラクション



司会 井上晴喜会員

(開会の挨拶)

社会奉仕委員会 常任委員長 安宅浩一



只今、ご紹介いただきました、安宅です。

本日はお忙しい中、アゼリアロータリークラブ公開例会に多数ご参加いただき、誠に有難う御座います。またこの度、初めて公開例会を開催するにあたり、御協力を賜りました、(社)和歌山県聴覚障害者協会様、手話サークルの皆様、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。開演に先立ちまして社会奉仕部門からご挨拶申し上げます。

当クラブはこれまで「奉仕の理想」を求め、いろいろな奉仕活動をさせて頂いております。この度の公開例会にあたり、昨年橋本市で全日本ろうあ連盟創

立60周年記念映画「ゆずり葉」が上映された事を知り、早速（社）和歌山県聴覚障害者協会様に連絡をさせて頂きました。内容をお聞きしましたところ、映画は全て、聴覚障害者の方たちで製作されたとの事でした。また、聴覚障害者の皆様と、手話サークルの皆様方による「華岡青洲の手話劇」も、日々練習に励まれているとのことをお聞きし、これは一人でも多くの方に観ていただきたい、という思いから、本日の公開例会に御協力をお願いした次第です。

本日の「華岡青洲の一部、手話劇」、また全日本ろうあ連盟創立60周年記念映画「ゆずり葉」をご覧いただき、皆様のお心に深く届き、熱いものを感じていただけたならば、当クラブにとりまして何よりも幸いです。

本日お集まりいただきました皆様と、数時間ではありますが心一つにし、意義ある時間を過ごせますよう努めさせていただきます。最後までお付き合いの程、何卒宜しくお願い申し上げます。

簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。

(ゲストの方々の挨拶)

和歌山県聴覚障害者協会 福田美枝子副会長より簡単な挨拶を頂きました。



手話劇の指導者の平井侑子様よりご挨拶と、手話劇のご説明を頂きました。



(手話劇)

〔華岡青洲的一幕〕を手話での劇を下記の方々によって熱演されました。

出演者：福田政和様・森本香織様・大畑節子様

中本春奈様・勢田浩規様

劇の指導：劇団華岡青洲の平井侑子様・谷口鈴代様

金田玲子様

手話通訳士：酒匂美也子様・小藪恵美子様

手話サークル〔ドリーム〕：杉岡順子様・榎本橋子様

井端大海様



(映画 ゆずり葉 の上映)

財団法人 全日本ろうあ連盟 創立60周年記念映画
映画の感想を語るには、うまく表現する言葉が出てきませんが、心に何かを感じたのか、めったに涙の出ない私ですが、ポケットからハンカチを出してしまいました。



(閉会の挨拶)



社会奉仕委員会 委員長 太田完治

今日は休日にも関わりませず、ご多忙のところアゼリアロータリークラブ公開例会に足を運んで頂き、誠にありがとうございます。今回、私共ロータリークラブの活動の一環として、プログラム委員会と社会奉仕委員会が共催で企画させていただきました。そして今回の行事が少しでも聴覚障害者の皆様のお役にたてばとの思いで企画しました。聴覚障害者の方々には、手話劇 華岡青洲を立派に演じて頂きました。

ここまで来るのに大変な努力があったことと思います。ここに出演者の皆様はじめ、関係者各位の皆様に敬意を表したいと思います。

そして只今上映されました映画「ゆずり葉」ですが、まだ余韻が覚めませんがゆずり葉という木は若い葉が育ってから古い葉が落ちてゆくことにちなみ自分の代から次の代に“ゆずる”という意味が込められているそうです。

今の日本は人間としての心が失われている事件が後をたちません。

自分さえよければよいという考えが主流になり、他人に一步“ゆずる”心が失われています。

この映画「ゆずり葉」の感動の輪が日本中に、また世界中に広がればいいのに、と思います。

本日、ご来場頂いた会場の皆様方、そして関係者各位の皆様ありがとうございました。

それから最後にお願ひですが、本日上映のゆずり葉の原作本等の書籍販売、それと募金の御協力を併せてお願い申し上げ、御礼のご挨拶に変えさせていただきます。 本日は、ありがとうございました。

(7)

2010年(平成22年)5月11日(火曜日)

(日刊) わ

聴覚障害者の理解を

アゼリアRCが例会で手話劇

和歌山アゼリアロータリークラブ(山田茂会長)は9日、和歌山市西高松の県立図書館メディア・アート・ホールで映画「ゆずり葉」の上映と手話劇を上演。集まった約280人が聴覚障害者への理解を深めた。同クラブの社会奉仕事業の一環で、広く一般への聴覚障害者支援と啓蒙(けいもう)活動を目的に開いた初の公開例会。これまでに図書寄贈など、さまざまな面で交流のある児童養護施設「旭学園」の子どもたちも招待された。

和歌山アゼリアロータリークラブは、紀の川市の手話サークル「ドリーム」のメンバーらが出演。世界で初めての全身麻酔による乳がん摘出手術に成功した青洲が、妻に麻酔薬を飲ませる体実験を行った一幕を上演。来場者は普段目にするこの少ない通訳付きの手話劇に釘付けになっていた。続いて上映された「ゆずり葉」は、全日本ろうあ連盟創立60周年記念映画。聴覚障害者の体験を基に制作されたもので、人生のさまざまな喜びと悩みを当事者の目から描く人間ドラマに、感動が伝わる来場者もいた。

施設「旭学園」へ図書で集まった募金計約25カード(10万円分)の万円は県聴覚障害者協会の協賛券の代金と会場う。



聴覚障害者らによる手話劇も上演された